

ほっぷ
すてっぷ

じゃ JAんぷ

2023

10

Vol.296

特集 |

岩手の秋の味覚をお届け！
食農立国おもてなしフェア

番外編

ちやぐりんスクールを開催！

“食農立国JAいわて中央”を支える生産者の想いをつなぐコーナー――

収穫の秋を大満喫！

「稲刈り体験&おむすびカーニバル」

JAは9月23日、今年度3回目のちやぐりんスクールを開催し、管内の小学1～3年生の児童とその保護者ら18組60人が参加しました。

今回は、春に田植え体験をした盛岡市の藤村勉さんの圃場で、岩手県オリジナルブランド米「銀河のしずく」の稲刈りを体験。参加者は、JA青年部の盟友らに作業のポイントを教わった後、秋晴れの空の下で一生懸命稲の刈り取りを進めました。

また、足踏み脱穀機を使った昔ながらの脱穀作業も体験し、機械の仕組みや使い方を学びました。

稲刈り体験の後は、JA紫波支所へ移動し、JA青年部主催の〇×クイズを開催。お米にまつわる問題が出題され、全問正解した児童には、「銀河のしずく」5kgやAコープマーク商品の詰め合わせが贈られました。

同スクールの最後には「おむすびカーニバル」と題して、「銀河のしずく」を使ったオリジナルのおむすび作りに挑戦し、握りたてのおむすびとJA女性部手作りの豚汁を味わいながら、地元産の農

畜産物を堪能しました。

参加した児童は「春に植えたお米が大きくなっていて嬉しかった。自分で具を選んでおむすびを作るのが楽しかった」と笑顔で振り返りました。



JA青年部の
お兄さんに
作業のコツを
教わります

上手に稲を
刈れました！



JA女性部の
戸塚幸子部長が
お昼ご飯について
紹介しました

大きなおむすび
いただきます！



目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国 2	ちゃぐりんスクールを開催！
特集Ⅰ 4	岩手の秋の味覚をお届け！ 食農立国おもてなしフェア
特集Ⅱ 6	働きやすい環境づくりを目指して 教えて！農業雇用のこと
NewsFile 8	規格を守ってブランドつないで 津志田芋出荷目揃い会 他
営農情報 10	来年の水稲栽培に向けた土づくりについて 他
Deliciousいわて vol.09 12	サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！ まちのスマイル 13
インフォメーション 14	JAいわてグループ Presents 国消国産フェア 他
今月のレシピ 16	豚こまのピリ辛あえ



株式会社フジ・リテイリング

愛媛県松山市に本社を置き、四国・中国エリアを中心にチェーンストアを展開。JAでは平成12年から取引を開始し、今年で23年目。毎年同社員がJA管内を訪れ産地研修を行うなど、生産と販売が一体となった取り組みに力を入れています

特集！

〳 岩手の秋の味覚をお届け！ 〵

食農立国おもてなしフェア

JAは9月22日～24日の3日間、相対取引先である(株)フジ・リテイリングの広島県、愛媛県内の7店舗で「JAいわて中央食農立国おもてなしフェア」を開催しました。

今月の特集では、フェアの模様をお届けします。

岩手県の魅力をPRする岩手まるごとおもてなし隊やいわて純情むすめ、JA職員ら10人が店頭に立ち、早生品種のリンゴ「さんさ」「きおう」「サンつがる」を中心に、米や西洋なし、野菜など、豊富に並んだ管内産の農産物を総合的にPRしました。

また、23日・24日の2日間、(株)フジ・リテイリングの店舗で最大規模を誇るエミフルMASAKI(愛媛県伊予郡松前町)で行ったフェアでは、コロナ禍の間中止していた試食販売をおよそ4年ぶりに実施。リンゴや岩手県オリジナルブランド米「銀河のしずく」の試食を提供し、来店客は品種ごとの違いなどを味わいながら、商品を買いました。さらに同店では、米やリンゴなどが当たる抽選会や岩手まるごとおもてなし隊のステージなどの企画も行い、販売を盛り上げました。



3



4



1



2



1. リンゴの試食のほか、「銀河のしずく」は炊きたてをおにぎりで提供しました 2. 岩手まるごとおもてなし隊による産地紹介や「盛岡さんさ踊り」の披露などで会場を盛り上げました 3. 今が旬の野菜も豊富に並びました 4. 大盛況のエミフルMASAKIのフェア会場

(株)フジ・リテイリング

生鮮食品事業部 第二商品部(青果) 吉松 慎平さん

今年も「おもてなしフェア」に新物リンゴやお米を楽しみにして下さる中国・四国のお客様に数多く来店していただきました。コロナ禍でしばらく中止となっていた試食販売も数年ぶりに再開し、岩手の旬の味覚をしっかりと感じていただけた有意義なイベントとなったのではと感じております。今年はリンゴの作柄が厳しい中でご苦労されることも多いかと思いますが、皆様の努力を販売にしっかり繋げていくことで岩手の魅力をもっと伝えていければと思っています。

果物担当バイヤーより



STEP 1

雇用を結ぶ前に確認

今の農作業を整理しよう

☑ 仕事内容

例えば「畑仕事」なら「草むしり」「間引き」「収穫」など、「仕分け作業」なら「選別」「計量」「箱詰め」というように、仕事内容を細かく分解して考えてみましょう。パートさんにとっても仕事のイメージがつかみやすくなり、募集の時も役立ちます。

☑ 必要な労働力

定植

1日(8時間)×5人
=40 power(労働力)

収穫

1日(8時間)×10人
=80 power(労働力)

…というように、各時期に必要なとなる労働力を把握しておきましょう。そこから、「朝の短時間」や「子どもが学校にいる昼間」、さらに「平日」・「週末のみ」といった、労働日数や時間帯など求職者のさまざまな希望を組み合わせ、全体で必要な労働力を確保するのがポイントです。

特集Ⅱ

働きやすい環境づくりを目指して

教えて！農業雇用のこと

作物に応じた肥培管理や収穫・出荷作業など、多くの人手を必要とする農業。

時代とともに農業環境やライフスタイルが変化する中で、

J Aは、農家組合員の労働力確保をはじめ、働く人と雇う人が

互いに安心して働くための労働保険加入の支援などにも取り組んでいます。

特集Ⅱでは、農業雇用を進める上でのポイントをご紹介します。



J Aの労働力支援
各種保険手続きも
サポート

農業の人手を求める農家組合員に対し、労働条件が一致する求職者を無料で紹介するJ Aの「無料職業紹介所」は、平成29年の開設以降、管内の約1割の農家が利用し、これまで700人を超え、人が採用となり、実際に農業現場で活躍しています。

また、J Aは厚生労働省の認可を受け、事業主(雇用農家)から委託された労働保険事務の手続きを行う「労働保険事務組合」の業務も行っています。農作業中のケガなど、農業現場で起こりうる万が一の事故に備えた労災保険や雇用保険の加入手続きなど、行政等と連携しながら様々なサポートを行っています。

STEP 3

いよいよ仕事がスタート!

大切なのは「思いやり」

☑ 作業説明は 分かりやすい表現で

未経験者は最初は何もできないのが当たり前。簡単な仕事から優しく指導し、適性にあった作業を見つけてくれることも大切です。

☑ 定期的な面談を

「働きぶりをちゃんと見ているよ」「理解しているよ」と言ってもらえるだけで安心して働けるもの。定期的に話をする機会を設けましょう。

☑ 来年も来て もらえるように

シーズンの終わりには、来年もまた働きに来てもらえるように話をしましょう。また、子どもの成長に応じて働ける時間が長くなったり、短時間パートさんが数年後に熟練した労働力になる可能性もありますので、お互いに良い関係を長く続けられるよう心掛けましょう。

STEP 2

正しく理解しよう

雇用契約を結ぶ際には、 以下のポイントに注意しましょう

重要 最低賃金の改定

最低賃金制度は年齢やパート、学生アルバイトなどの働き方の違いに関わらず全ての労働者に適用されるもので、全ての事業主は、雇用する労働者(パート、アルバイト等を含む)に、最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

岩手県最低賃金 893円

(令和5年10月4日発効)

労働条件通知書の交付

(または雇用契約書)

「労働条件通知書」は、労働者と労働契約を締結する際に交付する、契約期間や賃金、業務内容などの労働条件を記載した文書のこと。記載しなければならない事項は法令で定められており、正社員だけでなく、パートやアルバイトなどの短時間労働者や日雇労働者にも交付する必要があります。

年次有給休暇の付与

労働者が採用から6か月間継続して勤務し、全労働日の8割以上出勤していれば、10日間の年次有給休暇を付与する必要があります。また、労働基準法の改正により、事業主は法定の年次有給休暇付与日数が10日以上全ての労働者に対し、毎年5日の年次有給休暇を確実に取得させることが義務付けられています。

JAの
ホームページからも
最新情報が
ご覧いただけます



求人・求職のお申し込み・お問い合わせ

JAいわて中央無料職業紹介所(紫波地域営農センター内)

TEL 676-3346 / FAX 672-1595

E-mail syokugyousyukai@ja-iwatechuoh.jp

【受付時間 平日8:30~17:00】



規格を守ってブランドつないで 津志田芋出荷目揃い会

News File
ダイジェストを公開中!



目揃い会で規格を確認する参加者ら

JAは9月27日、盛岡市津志田の野田自治公民館で津志田芋の出荷目揃い会を開きました。生産する野田青果物出荷組合の生産者やJA担当者ら14人が参加し、出荷にかかる注意点などを確認しました。

目揃い会後は、およそ4年ぶりに試食会も行われ、参加者は津志田芋が入った芋の子汁を堪能。同組合の吉田金作組合長は「これからも統一した品質でブランドを守り、地域が誇る津志田芋の生産に、より一層励んでいきたい」と意気込みました。

作り手の顔が見える病院食に



旬の農産物を 地元病院へ提供



8月上旬、盛岡友愛病院で提供された「地産地消御膳」と食材紹介カード

JAでは、地元食材を身近で味わってもらおうと令和2年度から岩手医科大学附属病院と医療法人友愛会盛岡友愛病院へ、米や青果物の供給を行っています。

これまで地元食材を使用したメニューの提案などを行ってきましたが、今年度はキュウリやズッキーニ、リンゴなど、その食材にまつわる話や生産者の声を記した紹介カードをあわせて配布しています。病院患者さんからは「いつもおいしくいただいています。暑い日が続きますが頑張ってください」といったメッセージもお寄せいただいています。

「銀河のしずく」のPRへー丸!



達増県知事が 生産者と交流深める



達増知事、他、熊谷泉紫波町長や浅沼清一組合長らが参加しました

JAとJAいわて中央銀河のしずく栽培研究会は9月19日、紫波町星山の圃場で岩手県産ブランド米「銀河のしずく」の稲刈り行事を開きました。達増拓也知事がコンバインを操作して稲を刈り取った後、生産者らと懇談しながら「銀河のしずく」の新米で握ったおにぎりを味わいました。

稲刈りを終え、達増知事は「今年は猛暑で大変な気候が続いたが、稲がしっかり育っているという手応えを感じた」と話し、「県内や首都圏でどんどんトップセールスを行っていきたい」と意気込みを語りました。

地元の子どもたちに指導



JA矢巾地域青年部 バケツ稲の稲刈り体験



協力して脱穀作業をする参加者と青年部員ら

JA矢巾地域青年部は9月17日、矢巾町の新田公民館でバケツ稲の稲刈り体験を行い、同町社会福祉協議会が運営する子ども食堂「ここかむ食堂」を利用する親子6組12人が参加しました。

バケツ稲は5月に田植えをし、各家庭で栽培管理をしたもので、参加者は部員からコツを教わりながら刈り取り、昔ながらの脱穀作業も体験しました。参加した児童は「育ててみてお米一粒の大切さが分かった」と振り返り、同部の高橋誠樹部長は「今度はぜひ田んぼでのお米栽培にも挑戦してもらいたい」と話しました。

集めてワクチン支援へ



JA女性部 ペットボトルキャップ寄付



同社代表取締役の大和博威さんにペットボトルキャップを手渡す戸塚部長（中央）と鎌田都美子副部長（右）

JA女性部は9月11日、部員から集めたペットボトルキャップを、再生原料の生産などを行う奥州市の(株)ピーシングに寄付しました。同社では、ペットボトルキャップを粉砕加工し、メーカーに販売。その買い取り金額を連携する認定NPO法人に寄付することで、開発途上国の子どもたちへのワクチン提供に取り組んでいます。

今回、寄付したペットボトルキャップは428kgで、ポリオワクチンに換算すると約107人分。同部の戸塚幸子部長は「声掛けなどで賛同してくれる仲間を増やしながら、今後も活動も継続したい」と話しました。



高品質出荷で有利販売へ リンゴ中生品種出荷規格目揃い会



着色基準などを確認する参加者ら

JAは9月27日、リンゴの中生品種の目揃い会を管内8会場で開き、「ジョナゴールド」「紅玉」を含む9品種の受付対策や選果基準を確認しました。

都南支所大会議室で開いた目揃い会には、生産者やJA担当者ら約60人が参加。今年度産のリンゴは春先の凍霜害による数量減に加え、夏場の高温の影響で日焼け果等の発生や着色不良などが確認されていることから、JA担当者は「収穫遅れに注意し、果実の熟度を見極めた上で品質が良いものを出荷してほしい」と呼び掛けました。



米穀

来年の水稲栽培に向けた土づくりについて

今月の担当

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課米穀グループ 島山 友輝



今年は、出穂後の気温が高温で経過したこともあり、平年より稲刈りが早く進みました。

近年、気候の変動が激しく、その影響による収量の減少や品質の低下が懸念されます。天候に左右されない稲づくりを目的とした土づくりに取り組みましょう。

1. 土づくりの方法

地力増進と有機物の腐熟促進のため、次の方法で土づくりを行いましよう。

① 堆肥の施用

完熟堆肥を施用することで、発根の促進や養水分の吸収力向上など、総合的な土づくりの効果があります。

② 稲わらの秋すき込みと腐熟促進資材の施用

土壌微生物の活動が盛んな、秋のできるだけ早い時期に行うことが効果的です。また、腐熟促進資材を施用することで、生育阻害の原因となる有毒ガスの発生を軽減できます。

③ 土づくり資材の施用

ケイカル等の珪酸質資材を施用することで病気や倒伏に強い稲づくりが期待できます。また、土壌改良資材は流亡が少なく秋に施用することで春作業の負担が軽減できます。

2. 秋耕起作業

収穫後の秋耕起は来年の水稲栽培に大切な作業です。収穫後はできるだけ早く行

いましよう。

秋耕起を行うことで雑草の塊茎を冬に枯死させ、翌年の発生を減らすことができます。また、稲株や稲わらの分解による地力増進の効果や根腐れの原因となるワキの発生を軽減することができます。

3. 農作業安全

10月に入り、日没が早まることから農作業事故の危険性が高くなります。ゆとりのある計画的な作業を行い、農作業事故防止を心掛けましよう。

令和6年
春肥料の配達開始のお知らせ

配達期間

令和5年11月上旬～
令和6年2月末(予定)

配達に関するお問合せ

受注センター

☎0800-800-0007

注文の変更・使用方法に関するお問合せ

グリーンセンター紫波 ☎676-5081
グリーンセンター矢巾 ☎697-9021
グリーンセンター都南 ☎637-7400
グリーンセンター盛岡 ☎659-0092
グリーン紫波東部 ☎671-3040
グリーン盛岡東部 ☎696-2344

銘柄	目的				施用量 (kg/10a)	施用時期
	稲わら腐熟	珪酸補給	磷酸補給	その他		
ペレット状わらゴールド	◎				30	秋
鶏ちゃんパワー	○		○	土づくり、基肥・追肥の代替等	30～45	秋・春
シリカ未来		◎			60～100	春
ケイカル		◎			100～140	秋・春
混合りん肥新3号		◎	○	微量要素	100～140	秋・春
石灰窒素	○				20	秋

【表1】各種土壌改良資材



子牛市場情報 (令和5年9月15日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
紫波	12	455,000	206,000	332,083	285	-86,644	紫波	25	643,000	302,000	437,600	307	-56,971
矢巾	10	457,000	244,000	326,000	276	-206,000	矢巾	11	623,000	350,000	477,455	320	31,026
盛岡	8	476,000	252,000	387,625	284	-116,375	盛岡	9	624,000	308,000	488,444	317	-80,889
JA計	30	476,000	206,000	344,867	282	-98,466	JA計	45	643,000	302,000	457,511	312	-32,364
市場計	100	564,000	206,000	359,100	283	-66,356	市場計	159	859,000	261,000	460,566	309	-91,485



秋期営農・生活座談会を開催しました

J Aは8月29日～9月7日の期間、管内31会場で令和5年度秋期営農・生活座談会を行い、345人の組合員が出席しました。座談会で頂いたご意見や質疑応答の一部をご紹介します。(誌面の都合により、編集しています)

Q. 今年使用した除草剤「ウイナー」が残っているが来年は使えるか。

A. 食農立国米(慣行米)では使用できませんが、特別栽培米では使用できませんのでご注意ください。

Q. 今後の「銀河のしずく」の作付けの動向について教えてください。

A. 紫波地域600ha、矢巾地域900ha、盛岡地域900ha、J A全体で2,400haを計画しています。

Q. ライスセンターの利用申し込みが例年より早すぎるので、7月頃に申込書を

配布してほしい。

A. 農家組合配布が月に一度になったことで前年より早くなったと考えられます。ご理解をお願いいたします。

Q. 高温障害の対策についてどのような対応が必要か。

A. 出穂後の登熟期の水管理が重要となるため、水の入れ替え頻度を高めて、水温と地温を下げることで有効であり、岩手県農業研究センターの研究成果では、夜間の入水が効果的であると言われています。

Q. ふるい下米袋に品種名の記入は必要か。

A. 出荷者氏名または生産者番号の記入だけで品種の記入は不要です。一度使用された米袋を使用する場合には、検査証明欄に黒マジックで×印も忘れずをお願いします。

Q. 「銀河のしずく」を紙袋出荷した場合、カメムシ被害が出た際の対応について再度説明願いたい。

A. タンパク値をクリアした厳選「銀河のしずく」がカメムシ被害により落等した場合、厳選1等と2等の価格差が大きく、再調整を行った方が価格的に有利となるため、色彩選別機による再調整のご相談をさせていただきます。

Q. 「銀河のしずく」のタンパク値測定はどのように行うのか。

A. リモートセンシングによる衛星写真で測定を行います。基準外の圃場につきましては、生産者へ連絡し、玄米サンプルを用いて測定を行います。

農業用廃プラスチック回収のお知らせ

詳細は9月14日付の組合員文書配布でお配りしている文書をご覧ください。

第1回

【日 時】10月14日(土) 9:00～12:00/13:00～15:00
【回収場所】グリーンセンター矢巾/グリーンセンター都南

第2回

【日 時】10月21日(土) 9:00～12:00/13:00～15:00
【回収場所】グリーンセンター紫波/グリーンセンター盛岡

回収 できるもの

ポリエチレン類

- ハウス張替ビニール(PO)
- ポリエチレンフィルム(マルチなど)
- 肥料袋 ●育苗箱 ●牧草用ラップ など

※リサイクルできない汚れ、劣化のあるものは受付致しかねます。

塩化ビニール類

- ハウス張替ビニール(塩化ビニール)
- トンネル用ビニールのうち「農ビ」と印刷されている物 など

処理料

1kg…65円(税込概算価格)

※処理料は口座より引落としとさせていただきます。当日の現金での処理料のお支払いはご遠慮願います。

お問い合わせは各地域グリーンセンターまでお願いします





Delicious
Iwate
いわて

紫波町・上平沢

Vol.09

芽吹き屋 志和店

風味豊かな和菓子
自然解凍で作りましたを

岩手阿部製粉㈱が運営する「芽吹き屋」は、来年初創業70年を迎える歴史ある和菓子ブランド。本社屋隣の本店、紫波町上平沢の志和店の2店舗が直売店で、物販コーナーとレストランを併設しています。

「芽吹き屋」で取り扱う和菓子はおよそ50種類。通年販売されている定番商品の他、四季折々の季節商品も充実しており、飽きの来ない豊富なラインナップが揃います。また、日本初の冷凍和菓子としても有名な「芽吹き屋」の和菓子は、自宅用はもちろん、贈り物にも大人気。マイナス40℃以下で冷凍された和菓子

は、自然解凍で簡単に作りたての味を楽しむことができます。

さらに、原料は県産を中心とした国産のうるち米や紫波町産のもち米を使用しており、独自の製粉方法によって生み出される自社開発製粉は、艶やコシ、風味の良さが特徴。素材本来の良さとこだわりの技術をもつて、おいしさを追求しています。

志和店の佐藤由美店長は「当店の商品は、自然解凍で作りましたのおいしさが味わえるのが魅力です。季節ごとの商品をぜひご家庭で楽しんでいただきたいと思います」と笑顔を見せています。

おすすめメニュー

志和店の一番の人気商品は、平らに伸ばした団子に、くるみや味噌、醤油などを独自に配合したたれを塗り、表面を香ばしく焼いた、岩手の郷土菓子「お茶もち」。歯切れの良い餅の食感と香ばしい風味が楽しめます。



芽吹き屋 志和店

T028-3441

岩手県紫波郡紫波町上平沢字八幡142

☎ 019-673-7615

営業時間(物販): 9時~17時

定休日: 月曜日・火曜日

※本店の営業時間等は「芽吹き屋」のホームページをご確認ください。





サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!

今月は

里芋

収穫の秋を迎え、サン・フレッシュ都南の店内では、野菜や果物など旬の味覚が揃ってきました。なかでもこの時期出荷が増えている里芋は、独特のなめらかさが魅力で、親芋や子芋、孫芋と、食べる部分によっていろんな料理で楽しめる食材です。また、地元津志田地区で生産されている「津志田芋」は、生産者数もわずかな貴重な里芋ですので、見かけた際にはお早めにお買い求めください。

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

サン・フレッシュ都南・JAいわて中央
盛岡地域収穫感謝祭 11月11日(土)～12日(日)

里芋を使った「芋の子汁」は、これからの寒い時期にぴったりです!

サン・フレッシュ都南

住 所 〒020-0853
岩手県盛岡市下飯岡21-180
TEL 019-637-6801
営業時間 9:00～18:00



小枝店長

まちの スマイル

Vol. 24

盛岡市・下飯岡

ふじしま まさひろ



右 藤島 正洋さん(49)

ゆき



左 有希さん(48)

リンゴや米などを栽培する藤島家。就農3年目の正洋さんは「一緒に農業をしている両親や地域の先輩方から多くのことを吸収し、少しでも地域の農業に貢献していきたい」とまっすぐな思いを話します。

また、共通の趣味である韓国ドラマ鑑賞や日課にしている愛犬えんくんの散歩など、夫婦の時間を大切にしているお二人。有希さんは「農業には定年がないですが、夫には健康に気を付けて頑張ってもらいたいです」と優しく語り、正洋さんは「いつも家族をそばで支えてくれる妻にはとても感謝しています。子育ても一段落しましたが、今後も楽しみを見つけていきたいです」と笑顔を見せています。



二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

最近感動したこと

応募締切

10月27日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ10月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

広報誌応募フォームにて受付 ▶

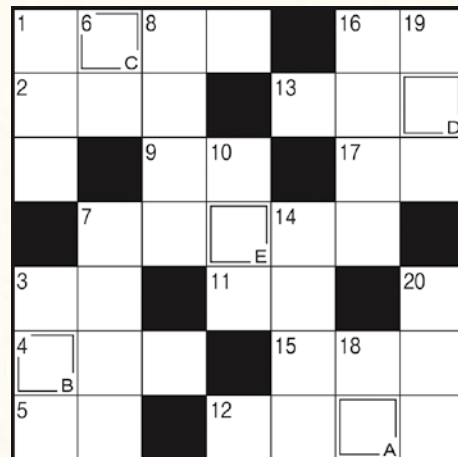
E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報は、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

9月号の答え

「アキナス」



→ ヨコの力ギ

- ① 秋桜と呼ばれることもある花
- ② 有効利用されていない土地
- ③ イガに守られた実があります
- ④ 野球では右翼手ということも
- ⑤ 小説家がつづるもの
- ⑦ 寒くなる頃に日本に飛んでくるものもいます
- ⑨ 春日局は徳川家光の——でした
- ⑪ 刺し身にのっていることもある花
- ⑫ 手紙のこと。往復——
- ⑬ 絵を描いたり粘土細工をしたりする教科
- ⑮ ローマやカイロ、マニラなど
- ⑯ 日本海に大きく突き出た——半島
- ⑰ 白川郷や下呂温泉で知られる県

↓ タテの力ギ

- ① オーストラリア固有の動物。子守熊ともいいます
- ③ スペード、ハート、ダイヤ、——
- ⑥ なるべく——嫌いをせずに食べてね
- ⑦ 2枚の書類にまたがるようにはんこを押します
- ⑧ カラオケでのレパートリー
- ⑩ HPと表される仕事率の単位
- ⑭ 秋の夜長にページをめくりつつ楽しめます
- ⑯ 木材を切る道具
- ⑰ 天井と向かい合っています
- ⑱ 絹ごしや木綿があります
- ⑳ リレーの選手がつなぐ物

テーマ

秋を感じる瞬間

皆様からのお便りをご紹介します！



秋を感じるのは、朝に窓を開けた瞬間、肌に感じる爽やかな空気です。昔はとても辛かった農業を、若い人たちが楽しい農業のイメージにしてくれている様子がとても素敵です。

(北日詰・C／68歳)

9月下旬になり、やっと過ごしやすい気温になりました。少しひんやりとした初秋の空気は、爽やかで気持ちが良いですね。

産直でりんごとぶどうを買って、それを箱に詰めて東京の孫に送

るときです。「おばあちゃん、ありがとうございます」のビデオレターが楽しみです。

(津志田・C／70歳)

お孫さんにとっては「岩手からおいしい果物が届くとき」が秋を感じる瞬間になっているかもしれませんね！

夜に半袖では耐えられなくなってきたとき。日中は暑いのに、日が暮れると急に寒くなる。薄手の長袖が必須です。

(岩清水・S／44歳)

厳しい残暑が落ち着き、すっかり秋めいてきました。季節の変わり目、どうぞご自愛ください。

子どもの頃、母親が誕生日には、必ず栗ご飯を作ってくれました。栗ご飯を食べると、子どもの頃の秋の情景がよみがえります。

(津志田・C／70歳)

栗ご飯は「お誕生日」と「秋」の思い出がたくさん詰まった特別な行事食ですね！



理事会報告

臨時理事会が9月14日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

【議決事項】

1 令和5年産米概算金の決定

9月定例理事会が9月26日、紫波支所で開かれ次の議案について決議されました。

【議決事項】

1 当組合における取引のリスク評価書の一部変更

人事異動

令和5年10月で、次の方の人事異動が発令されました。

() は前所属。

◆ 営農販売部園芸推進課長 大弓 孝光

(紫波地域営農センター 園芸特産課長)



役員手帳

万が一に備えた 安心・満足な保障を

常務理事 菅原 弘範

この夏は全国的に猛暑が続き、県内においても真夏日が観測史上最も長い50日以上観測されました。盛岡では8月の最高気温が31日間すべて30℃以上となり、平均気温も27.9℃と平年より4.4℃高くなるなど、こちらも観測史上最も高い記録となりました。

また今年は、梅雨時期に台風の影響で西日本や東日本の太平洋側で活発な積乱雲が帯状に連なる線状降水帯が発生したほか、隣県の秋田県でも48時間の総雨量が400ミリを超えるなど、広い範囲で大雨による甚大な被害が発生しております。このように地球温暖化が叫ばれている今日には、いづどこで災害が発生するか分からない状況となっております。

JA共済の使命は、相互扶助を活動の原点とし、常に組合員・利用者の皆さまの信頼と期待に応え「安心」と「満足」を提供することを目指して取り組んでおります。万が一の災害に供えてご加入いただく建物共済のほか、生命や医療、介護など多岐にわたる保障を提供しております。新たにご加入したい、加入している共済の見直しをしたいなどをご検討の際には、各支所のLAまでお気軽にご相談をいただければと思います。今後とも組合員・利用者の皆さまへ安心をお届けするとともに、満足度を高められるよう取り組んでまいります。

INFORMATION

JAいわてグループ Presents

国消国産フェア

あなるダイニング
MINORU DINING

盛岡駅ビルフェザン内にあるJA全農いわて直営レストラン「みのるダイニング」では、JAグループがすすめる「国消国産月間」に合わせ、「国消国産フェア」を開催します。

開催期間 2023年10月16日(月)～11月12日(日)



◀「いわて純純ハンバーグ定食」1,529円(税込)

県内7JAから厳選した自慢の野菜を付け合せに使用！通常より増量してご提供します。

▶JAいわて中央はミニトマト

▶りんご生搾りジュース 385円(税込)
テイクアウト 378円(税込)

県内7JAのりんごを週替わりでご提供します。

▶JAいわて中央はシナノスイート

※りんごの品種は変更になる場合がございます

アクセス

盛岡市盛岡駅前通1番44号 盛岡駅ビルフェザンおでんせ館1F
営業時間 11:00～21:30(ラストオーダー21:00)

各地域秋まつりのご案内

紫波

第38回紫波町産業まつり
JAいわて中央「食」と「農」の祭典
10月14日(土) 午前10時～午後4時
15日(日) 午前9時～午後3時
【場 所】サン・ビレッジ紫波

矢巾

令和5年矢巾町秋まつり
10月21日(土) 午前9時～午後4時
22日(日) 午前9時～午後3時
【場 所】矢巾町役場駐車場内秋まつり特設会場

盛岡

第37回盛岡市農業まつり
10月28日(土)・29日(日) 午前10時～午後3時
【場 所】もりおか歴史文化館前広場、中津川河川敷など

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ
川村みのり
(企画管理部付)

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

盛岡地域営農センター
盛岡営農推進課園芸
グループ

新鮮食材で
楽しくクッキング
— This month's recipe —
今月のレシピ

150杯目



豚こまのピリ辛あえ

材料（4人分）

豚こま肉 ……200g キュウリ ……1本
もやし ……100g ニンジン…1/4本
「 麺つゆ ……大さじ3
た コチュジャン ……小さじ2
れ ラー油 ……小さじ2
」 白ごま ……小さじ1
かい割れ大根 ……適宜

作り方

- ① キュウリ、ニンジンは千切りにして水にさらす。豚こま肉ともやしはゆでて冷水に落とし水気を切っておく
- ② ボウルに【たれ】の材料を入れ混ぜ合わせ、①の材料を入れあえる
- ③ ②を器に盛りつけ、かい割れ大根のをせ出来上がり

編集後記



渡邊

4年ぶりとなったフェアでの試食販売。目の前で「おいしい」とリンゴやお米を購入して下さるお客様や、「販売会待っていましたよ」という嬉しい声まで。遠い地でもJAいわて中央の農産物を愛していただけていることを実感できたとともに、産地として、今後も確かな品質とおいしさを届けていきたいと強く感じました。



小野寺

秋晴れの下で開催されたちやぐりんスクール。子どもたちが一生懸命作業する姿や時折こぼれる素直な感想に感心したり、感動したり。「食育」は大人が教えるものではなくて、子どもから教わるものかもしれませんね。美しい田んぼの光景、稲穂の感触や匂い、全てが忘れられない貴重な体験となったことでしょう！

